

第 14 回 大阪市 PCB 廃棄物処理事業監視委員会 会議要旨

1 日 時 平成 21 年 9 月 8 日 (火) 午後 2 時 ~ 午後 4 時

2 場 所 此花会館 3 階 302・303 会議室

3 出席者

(専門委員)

福永委員長、中地副委員長、中室委員、花嶋委員、廣田委員、渡辺委員

(日本環境安全事業株式会社)

須藤事業部長、木村事業部上席調査役、清水大阪事業所長、志村大阪事業所副所長

(環境局)

川瀬廃棄物適正処理担当部長、瀬口事業部産業廃棄物規制担当課長代理

(オブザーバー)

那須 滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課技師

今泉 大阪府環境農林水産部環境管理室事業所指導課参事

大治野 兵庫県健康生活部環境管理局環境整備課

佐羽 奈良県景観・環境局廃棄物対策課主査

小倉 和歌山県環境生活部環境政策局廃棄物対策課技師

4 議 題

(1) 大阪 PCB 廃棄物処理事業の進捗について

(2) 環境モニタリング調査について

(3) その他

5 議事要旨

(1) 日本環境安全事業(株)から大阪PCB廃棄物処理施設の操業状態について説明があり次のような意見があった。

意見等の概要

- ・ 運転中に発生した低レベル廃棄物についての記載がないので、次回の委員会以降では事業場内の倉庫に保管する量の記載も願いたい。
- ・ ISO14001 取得をするということなので、来年度以降は事業報告とは別に環境報告書みたいな形で、恐らく水とかエネルギーとかも含めて統計が出てくると思うので今後は示していただきたい。
- ・ 現行の処理量と最終的な処理の期限との兼ね合いを考えると稼働率を上げざるを得ないという状況になる。そうなるというんな事故も起こり得るということですから安全な稼働が求められる。
- ・ 敷地境界線の汚水でダイオキシン類の濃度が高く出ている。改修工事・トラブル対応等の非常作業中に衣服等に付着したものが洗濯により流れ込んだとするならば、管理方法をきっちりするなどの対応により濃度は減ると思われるので徹底していただきたい。
- ・ アセトアルデヒドが高濃度で検出された件について、原因究明だけは徹底された方が良いと思う。原因不明とならないようお願いしたい。
- ・ 大阪事業所の本格操業が開始され約3年間経過しようとしている。この間、大きな事故もなく操業を続けられたことはまことに幸いであり、今後も操業により周辺環境への負荷を低減されるよう、より慎重に、それから安全で安定な操業を続けていただきたい。

(2) 本市より環境モニタリング調査について説明を行った。

(3) 日本環境安全事業(株)から全国5事業所における現況について説明があった。

意見等の概要

- ・ 期限内に処理を終わらせることを考えると、現行の廃掃法上大型のトランスを現場で解体できないというところがある。その辺の技術的な検討については、早めに検討すべきではないか。

(4) 今後の対応

操業について、安定稼働されており今後PCB廃棄物処理の期限があることから、処理量が増えるおそれもあるため、安全第一で処理事業を進めていただきたいとの意見が各委員からあり、今回の委員会の意見をふまえ、今後も住民と行政共にPCB廃棄物処理事業について当委員会を通じ、情報を共有し監視していく。

6 会議資料

資料(1) 大阪PCB廃棄物処理事業の操業状況について

資料(1) 参考資料

資料(2) 平成21年度 環境モニタリング調査について

資料(3) 日本環境安全事業(株)におけるPCB処理事業の現況

7 次回開催予定

平成22年2~3月

8 問い合わせ先

環境局 事業部 産業廃棄物規制担当

TEL 06-6630-3289

FAX 06-6630-3581